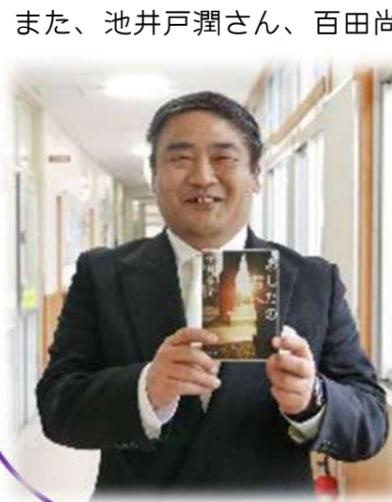


子どもたちと一緒に読書習慣はじめませんか？

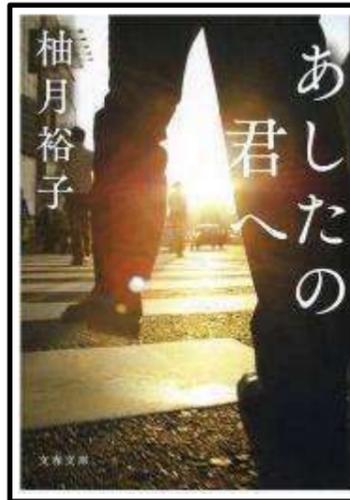
本の紹介者：美山中学校 桃井克洋先生
お薦めの本：『あしたの君へ』 柚月裕子著

たまたま、立ち寄ったコンビニの書棚で、「暇つぶしに読む本」くらいの気持ちで手にした『あしたの君へ(柚月裕子・文春文庫)』をお薦めします。家庭裁判所調査官が、悩みを抱える人たちと真剣に向き合い、事件や犯罪の真相に迫るといったストーリーですが、真実を見極めるには、出来事の背景や人の生き立ち等まで突き詰めることが必要なことを改めて感じさせてくれ、「周囲の人と、誠実に、真剣に向き合っているか。」「他者との関わりの中で、自分の価値観を見つめ直す柔軟な姿勢を持っているか。」ということ、自分自身に問いかける機会を与えてくれた作品です。



また、池井戸潤さん、百田尚樹さんの作品も好きです。池井戸さんの半沢直樹シリーズに代表される、社会の大きな組織や巨悪、困難に立ち向かう主人公の生き様・正義に共感でき、最後にスッキリとした爽快感が味わえます。百田さんの作品は「永遠の0」「影法師」「海賊とよばれた男」など、時代や社会の状況に翻弄されながら生きる主人公に「こんなにも強く生きることができるんだ。」「こんな崇高な生き方があるんだ。」と感銘を受けることが多くあり、到底、真似のできない生き方であると分かりながら、「こんな人になりたいなあ。」という思いを抱かせてくれるところが魅力です。どれも、読みやすい作品です。いろいろな人の生き方に触れてみてはいかがでしょうか？

いろいろ広がる 本の世界 Vol.1



児童・生徒・保護者アンケート結果から

学校では毎年、子どもたちを対象に、学校生活や学習に関するアンケート調査を実施しています。読書に関する今年のアンケート結果では・・・

本を読むことが好き、やや好きと回答した児童・生徒 … 約70%
子どもが家で本をよく読んでいる、やや読んでいると回答した保護者 … 約50%

読書好きな子どもたちでも、家庭ではあまり本を読む時間が取れていないのが現状のようです。一方で、読書を通して文章を読んだり理解したりすることは、国語の学習だけでなく、算数(数学)や理科、社会などさまざまな教科、コミュニケーション力、その先にある生活や暮らしに関わってくることが文部科学省の調査結果からも分かっています。まずは読書を楽しむこと、試しに触れてみることで可能性を広げたいですね！今後はいろいろな方を通じてお薦めの図書を紹介し、子どもたちだけでなく地域の方や家族内でも本を読む機会を増やせたらと思います。ぜひこの機会に本を手にとってみましょう！

小学校で人気の取組紹介



2階図書スペースは、空間を利用した立体展示が目を楽しめます。毎年テーマに沿った迫力の展示！

2階図書室前の廊下には、卒業生おすすめの本が顔写真とともに紹介されている。お兄さんお姉さんの好きな本を、一度読んでみたいと思うきっかけに！



「こども読書の日」に合わせて、毎年4月から5月にかけて読書のつどいを実施し、先生方おすすめの本をプレゼン！先生方の熱い語りに、思わずページを開いてみたくなる！

中学校で人気の取組紹介

DMO 小5 美山の資源が観光産業につながる

5年生は美山の観光資源について自分たちで調べてきました。かやぶきの里、芦生の森、美山牛乳をはじめとした特産品、自転車イベントなど、多くあることに気づきました。

2月26日に、美山観光まちづくり協会(美山DMO)より高御堂和華さんと井本環さんに来ていただき、美山町の観光についてお話をうかがいました。多いときで年間約90万人の人が訪れる観光地に成長している美山町ですが、観光消費額は一人当たり1,000円以下とかなり低く、その要因は観光資源が多くあっても、商品が少ないということです。小学生の自分たちにも、何かできることはあるかもと考えられました。

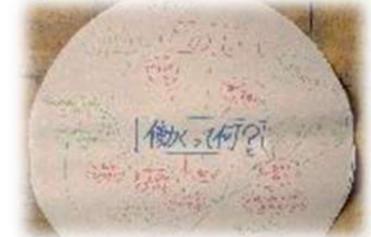


2年生は11月上旬、美山町内の13の事業所で職場体験

学習を行いました。体験後の感想文から生徒が感じたことを紹介します。

仕事の楽しさ 自分の成長 ・お客さんや職場の方との関わりを通して、自分が成長できる ・楽しい仕事がたくさんあった
・仕事をしていてとても楽しかった ・達成できなかった目標を今後の生活でも習慣にして頑張っていきたい
仕事に対する責任 ・一人ひとりが責任を持って仕事をしなければならないことの大切さ
挨拶 人を思いやること ・相手のことを考えて行動すること学んだことを生かしていきたい ・自分が作ったものを、誰かに食べてもらうことは嬉しいことだと気付けた ・ひとりひとりのお客さんと話していく中で、関わりが深くなっていくのは大切だと思った ・辛いこともあったが、お客さんのためなら頑張れる ・大きな声で話すことができるようになった ・あいさつや礼儀が大事だと改めて感じた
将来像 ・出来る事が増えることで、これからの将来について深く考えることができた ・将来は少しでも人を笑顔にできる仕事に就きたい ・働くとはどういうことかについて学ぶことができました
3日間の短い体験でしたが、貴重な体験をし、多くを学ぶことができたと思います。事業所の方々に改めて感謝申し上げます。

中学校2年生 職場体験を終えて感想から



元気 に！あいつできていますか？

「あいさつはすべての基本！」ハキハキと元気よく、1日を始められていますか。美山小学校・中学校では、年間を通してPTAや地域の皆さんと一緒にあいさつ運動を実施しています。しかしながら、学校アンケートの結果は児童・生徒自身の評価は「よくできている」「ややできている」が60%から90%と高いのに対し、保護者の評価は30%から70%と低めです。自分たちが思っているほど、相手には大きな声で元気よく届いていないのかもしれませんが。そのため、子どもたちは「できている」と回答していても、保護者は「あまりできていない」と感じている現状があるようです。地域の皆さんはどう感じておられるでしょうか？

コロナ禍で地域の活動も制限され、子どもたちと触れ合う機会が少なくなっています。こんな時こそ、遠く離れていても聞こえるように、お互いに大きな声で元気にあいさつを心がけましょう！また、マスクで表情が見えない今は、遠くからもよく見えるように、会釈をする、エアハイタッチ、手を振るなどの身振りを合わせると効果的です。

おはようございます!!



M カフェ★美山スクールコミュニティ&カフェ★

美山小学校放送室内に、「美山スクールコミュニティ&カフェ」と題して、地域と学校、保護者が集えるコミュニティスペースを設置しました。放送室内の壁いっぱいには配置されていたスチール棚や、器具機材を校長先生はじめ、学校の先生方が片付けて広々としたスペースを作ってくださいました。当面の間は地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)が在室中のみ、限



られた時間の利用となります。美山学の打ち合わせ、授業に来てくださった地域の皆さん、先生方との交流に使用します。壁面には美山学の取組を紹介しており、地域の方にも見ていただけるようにしています。将来的には、地域の方や保護者の方が気軽に学校で集えるコミュニティスペースとしての機能を果たしていけることを目指します。



美山地域学校協働本部 文部科学大臣表彰受賞

2月25日、文部科学省にて地域学校協働活動に係る文部科学大臣表彰授与式が開催されました。コロナ禍の影響で首都圏以外の受賞団体はオンライン表彰となり、美山小学校にて南丹市教育委員会木村義二教育長より伝達を受けました。5つの小学校が再編して美山小学校が誕生してから、間もなく5年が経とうとしています。再編当初から美山学と題して、小中学校が連携して総合的な学習の時間や様々な教科で地域を通じた学びを展開してきました。本年度から正式に美山小中学校学校運営協議会となり、より連携した学習の取組が実現しつつあります。



芦生の森でのフィールドワークをはじめとした、地域・小中学校が連携した継続的な学習の取組や、5つの地域と連携したホームステイ事業、4つの旧小学校校舎を活用したサテライト教室など美山学全体を通して、自ら考える力、表現力、コミュニケーション能力を高める学習の取組が高く評価されました。

また、「美山学を通じて小中学校の9年間を見通した教育活動が展開されてきたが、今後さらに充実することが期待される」との文言もあり、まだまだ歩みを始めたばかりの美山地域学校協働本部の活動を後押ししてもらった評価をいただきました。

令和2年度美山小中学校運営協議会 お世話になりました！

学校運営協議会の委員の皆さんには、準備委員として美山小学校が開校される前から関わって下さった方が多くあります。開校後も美山小中学校 学校運営協議会となるまで5年以上の長きにわたり運営に関わっていただいています。今年度末で委員を退任される方もあり、これまで地域と学校との協働にさまざまな形でご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。



コロナ禍の1年、さまざまな活動が制限され、本来美山学でめざす人と人とのつながりや関わりの中からの学びも模索の日々となりました。それでも子どもたちは成長し、学びを止めることはありません。私たち大人は、その一瞬を大切に、工夫しながら子どもたちとともに学ぶことが求められています。次年度以降も、より多くの方々と関わりながら地域学校協働活動をすすめていきますので、ご意見お聞かせください！

ホームページでは日々の子どもたちの様子を時更新中です！美山学の取組についても紹介しています。ぜひご覧ください。

